

ネットワーク長野県史料協

市民の皆さんの教育・学術・文化・生活の向上のために

安曇野市文書館 館長 平沢 重人

昨年10月1日に開館した安曇野市文書館です。12月までの3か月間に地域にお住いの10名の方から所有されている資料に関わってご相談をいただきました。講演会や文書館講座のアンケートでは「人物顕彰をシリーズで自治体合併の歴史を旧跡を古文書でたどるツアーの企画を」等、資料等の活用に関わってご意見やご要望をいただいています。少しずつですが市民の皆さんに文書館の存在が浸透していることを実感しています。

安曇野市では平成21年10月から安曇野市内の民家等に保存されている古文書資料の収集と整理作業を本格化させました。当時は収集といっても特定の保管施設を持たなかったため資料の多くを借用し、悉皆撮影するという手段で情報収集をすすめてきました。作業の成果は所有者ごとの古文書目録としてまとめられ、現在16冊を刊行しています。平成24年度からは本庁舎建設の動きに伴い、総務部庁舎建設推進課の業務として旧5町村の庁舎内に保管されていた現用文書を除く非現用文書の整理を行いました。江戸時代から昭和40年代までのすべての文書と原課で一時選別をした昭和50年代から合併までの非現用文書を1点1点封筒に詰め、町村別・分野別・年代順に棚に並べる方法をとりました。また緊急雇用創出事業による補助金を活用し、入力作業のためのパンチャーの雇用や文書の目録情報と位置情報をバーコードを使って管理するシステムを導入しました。平成28年度6月議会の冒頭で市長から旧堀金公民館・図書館の解体工事の中止と同施設を「文書館」等として整備する方針が発表され、工事は平成30年3月に完了しました。平成29年度には文書館の具体的な業務内容の検討に入りました。4回にわたる文書館業務検討委員会を経て、委員全員が納得する内容で提言書（「安曇野市文書館開館に向けた提言書」で検索）をまとめることができました。提言書の冒頭には文書館設置の役割について「安曇野市にとって重要な文書等がしっかりと後世に引き継がれ、安曇野市の教育・学術・文化・生活の向上につながることを期待しております」と書かれています。文書館は開館したばかりですが市民の方々と協働し、より良い施設となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

今年の11月14日・15日、第45回全史料協全国大会を安曇野市で開催することとなりました。長野県は全国屈指の文書館施設数を有しています。また設置を模索している多くの自治体があります。本大会に於いて、その背景にあるのは長野県史料協のネットワーク力であると発信するつもりです。どうぞ皆さんのお力添えをお願いいたします。

さて、今号の寄稿にあたり所感を述べたいと思ひます。本館では12月より市内小中学校17校に保存されている資料の調査を始めました。H中学校資料「講和発効並憲法発布五周年記念作文」です。『朝礼で校長先生から講和条約発効についていろいろなお話を聞いた。28日午後10時30分サンフランシスコにおいて正式に発効し終戦から占領時代を経て、日本は誇らかに独立し民主諸国の仲間入りをしたのです。日本国民にとってこんなに喜ばしいことは二度とないのです。日本は新しい平和なしかも独り立ちのできる国となったのです。私たちもこの忘れぬ喜びの日を記念して5月5日球技大会を開きました。皆正々堂々と戦い、独立の喜びを胸に空に向かって皆でバンザイをした。』

「講和条約が結ばれた」ことは事実です。でもこの作文があることによって中学生の姿を通して講和条約を解釈することができます。更に校長先生が話された資料があれば、解釈がより深められます。資料は作成者の意図が加わるものです。事実をより多面的・多角的に解釈するうえで資料の種類や量が大切になります。事実のひとつでも解釈は人の数だけあると言われるだけに、議論を深めるための資料を保存する役割は重要になります。その責任を負っているのが私たち文書館なのです。



真栄城沖繩県公文書館長から全史料協大会開催地の引継

災害に対する備え・日頃の資料管理

第2回文献史料保存活用講習会 「災害と史料保全Ⅲ」参加記

10月24日、県立歴史館で第2回文献史料保存活用講習会をおこないました。おなじみの国文学研究資料館青木陸先生から実りのあるお話をうかがいました。当日の感想を掲載します。なお今回は文化財防災ネットワーク推進室と連携をとり、近県の諸団体へも参加を呼びかけたところ千葉県博物館協会から2名の参加を頂きました。大規模災害時は県内外の連携が必要です。多くの知己を作りネットワークを広げたいものです。

松本市文書館 専門員 百瀬さくらさん

一般に災害と聞くと防ぐことが第一であると思われがちですが、実際には災害を防ぐことは困難です。重要なのは災害に直面した時に被害を最小限に抑えられるよう、日頃から「減災」の準備をしておくことであると、今回の講習会から学びました。

青木陸先生の講演を聴き、「減災」の準備として、地域にある資料の所在を明確に把握すること、そして資料の救助優先リストを作ることが早急の課題であると痛感しました。もし被災した場合、一度にすべての資料を救出することはできません。すこしでも多くの資料を後世に残すため、地域のどこにどのような資料があるのかを認識しておき、いざという時の迅速な文化財レスキューに繋げていくことが必要です。

また、災害時には周りの方々との繋がりが大事になるということも学びました。貴重な資料が沢山あることを広く周知し、関係機関との人的ネットワークの構築にも力を入れ、有事の際は互いに助け合える環境作りをしていきたいです。

千葉県立関宿城博物館 学芸課長 尾崎晃さん

今回の講習会、大変興味深く拝聴いたしました。

青木先生は被災時の史料救済の実態と、減災を目的とした日常の備えについて述べられ、小野先生は松田館の焼失という痛ましい事故から資料救済までの経緯を報告されました。お二人

の具体的で示唆に富んだお話は、博物館職員としてはもとより一公務員としても肝に銘ずべきものと感じました。

会の終りに笹本会長が、長野県の災害対策は他県より遅れている旨の話をされました。千葉県から見て長野県は自然災害自体が少なく余り心配もいらないのではとも思います。地震も少なく津波の心配もない。地盤が固く埋立地もないので液状化もしないでしょう。台風が通過しても高い山が勢いを削いでくれます。いざ災害が起きても、史料救済の拠点となる博物館の数も多く県内全域にあり県民の文化財に対する関心も高い。行政の取り組みは解りませんが、長野県は史料保全に対するポテンシャルが高い県だとも思います（上田市出身）。

流山市立博物館 学芸員 上條静香さん

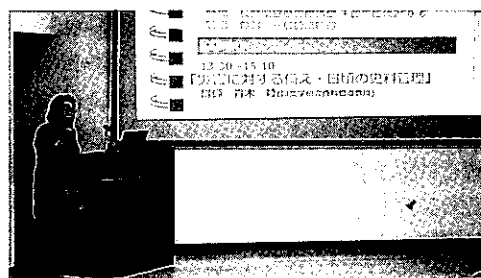
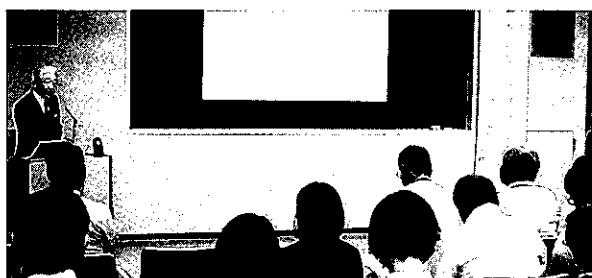
この度オープン参加という形で講習会に参加させていただきました。貴重な講演やお話を伺うことができ、充実した時間を過ごさせていただきました。

その中でも印象的だったのは、青木先生の基調講演にありました、「日本のアーキビストや学芸員は被災資料のレスキューやその後の対応にばかり関心が向いており、予防に対する意識が低い」というご指摘です。恥ずかしながら私自身も、レスキューや応急処置技術にばかり関心が向いており、「予防」についてはすっかり失念していたことに気付かされました。講演を通じて、日頃の点検・管理と、防災計画の策定という普段からの備えが如何に大切であるかを痛感いたしました。

災害は起こらないに越したことはありません。しかし、起きてしまったときに、ただ慌てふためくことにならないよう、資料を保存する立場にある身として、日頃から防災・災害対策のための計画を立て、いざという時にどのように救助するのか、常に意識を持つようにしたいと思います。

長野県史料保存活用連絡協議会のあゆみ(活動報告)

- 平成30年6月21日(木) 理事会・総会(諏訪市博物館)
 第1回文献史料保存活用講習会(諏訪市博物館)33名
 テーマ:高嶋城跡と茶臼山遺跡—大昔調査会発足に寄せて—
 講演 高見俊樹氏(一般社団法人大昔調査会)
 巡検 すわ大昔情報センター・諏訪上社
- 平成30年10月24日(水) 第2回文献史料保存活用講習会(県立歴史館)62名
 テーマ:災害と資料保全Ⅲ「災害に対する備え・日頃の資料管理」
 講師 青木陸氏(国文学研究資料館)ほか
- 平成31年1月29日(火) 工房見学会(上田市清蘭堂)5名 講師 小林誠治氏(清蘭堂)ほか
- 平成31年2月27日(水)・28日(木) 参加者17名 テーマ:襖裏貼を剥がしてみよう
 講師 村石正行(県立歴史館)



来年度前半のおしらせ(予定)

◆安曇野市文書館

行事名:企画展「改元と生活」
 期日:4月28日(日)～7月31日(水)
 概要:改元をテーマに当時の人々の生活が分かる資料を展示します。5月には記念講演会と講座を実施します。

行事名:テーマ展「臼井吉見展(仮)」
 期日:4月1日(月)～5月31日(金)
 会場:堀金支所1階市民活動室
 概要:臼井吉見記念文学館が市直営となったことを記念し、臼井吉見と文学館を紹介する展示です。

行事名:企画展「安曇野市の変遷を探る(仮)」
 期日:9月上旬～12月下旬
 概要:安曇野市の成り立ちを「安曇野」をキーワードとした資料から紹介します。

◆飯田市歴史研究所

行事名:第17回飯田市地域史研究集会
 「飯田下伊那の蚕糸業と地域社会」(仮)
 期日:9月7日(土)～8日(日)
 会場:飯田市役所C棟3階会議室
 概要:主要産業であった蚕糸業を通して、近現代における飯田下伊那の地域社会を考えます。

◆諏訪市博物館

行事名:速報展「小丸山古墳出土品平成30年度修復完了公開展」
 会期:4月27日(土)～5月26日(日)
 概要:諏訪市豊田にあった小丸山古墳出土品の修

復事業について、平成30年度に完了した資料を展示します。

行事名:特別展「諏訪人—藤森栄一と新田次郎—」(仮)
 会期:6月8日(土)～8月25日(日)
 概要:諏訪市が輩出した偉人、藤森栄一と新田次郎のプロフィールや業績、2人の関係性などについて紹介。

◆長野市公文書館

概要:移転準備による休館
 休館期間:4月1日(月)～11月下旬
 移転先:長野市若里6丁目(旧フルネットセンター)

◆長野県立歴史館

行事名:25周年企画展Ⅰ「館蔵名品選(仮)」
 期日:7月6日(土)～8月18日(日)
 行事名:25周年企画展Ⅱ「戦国 小笠原三代」
 期日:9月7日(土)～10月14日(月・祝)

◆松代文化施設等管理事務所

行事名:春の企画展「真田家中」
 会期:3月27日(水)～6月23日(日)
 概要:戦国時代を経て、近世大名に成長し松代藩十萬石を治めた真田家の家臣たちに着目。
 行事名:特別展「真田×刀」(さなだとかたな)
 会期:前期6月29日(土)～8月19日(水)
 後期8月21日(水)～9月23日(月・祝)
 概要:真田家に伝来した刀剣を紹介。※期間中、特別展料金となります。(一般600円)

長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿 (五十音順)

平成31年3月31日現在

個人会員は除く

| | 会員名 | 郵便番号 | 会員住所 | 電話番号 | FAX |
|----|--------------------|----------|--------------------------|--------------|--------------|
| 1 | 安曇野市文書館 | 399-8211 | 安曇野市堀金烏川2753番地1 | 0263-71-5123 | 0263-71-5127 |
| 2 | 阿南町教育委員会 | 399-1502 | 下伊那郡阿南町東條58-1 | 0260-22-2270 | 0260-22-2287 |
| 3 | 飯島町教育委員会 | 399-3702 | 上伊那郡飯島町飯島2529 | 0265-86-3111 | 0265-86-5596 |
| 4 | 飯田市歴史研究所 | 395-0803 | 飯田市鼎下山538 | 0265-53-4670 | 0265-21-1173 |
| 5 | 飯綱町教育委員会生涯学習係 | 389-1293 | 上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1 | 026-253-6646 | 026-253-6649 |
| 6 | 伊那市教育委員会 | 396-0292 | 伊那市高遠町西高遠1806 (高遠教育振興係内) | 0265-94-2557 | 0265-94-3697 |
| 7 | 上田市立上田図書館 | 386-0014 | 上田市材木町1-2-47 | 0268-22-0880 | 0268-28-1118 |
| 8 | 大町市教育委員会 | 398-8601 | 大町市大町4700 大町市文化財センター | 0261-23-4760 | 0261-23-4773 |
| 9 | 小布施町文書館 | 381-0297 | 上高井郡小布施町小布施1491-2 | 026-214-9114 | 026-247-3113 |
| 10 | 軽井沢町追分宿郷土館 | 389-0115 | 北佐久郡軽井沢町追分1155-8 | 0267-45-1466 | 0267-45-1466 |
| 11 | 坂城町教育委員会文化財センター | 389-0601 | 埴科郡坂城町坂城6362-1 | 0268-82-1109 | 0268-82-1112 |
| 12 | 佐久市教育委員会 文化振興課 | 385-0051 | 佐久市中込2913 | 0267-63-5321 | 0267-63-5322 |
| 13 | 信濃町教育委員会 | 389-1305 | 上水内郡信濃町柏原428 | 026-255-5923 | 026-255-6103 |
| 14 | 須坂市文書館 | 382-0013 | 須坂市大字須坂812番地2 (旧上高井郡役所内) | 026-285-9041 | 026-285-9175 |
| 15 | 諏訪市博物館 | 392-0015 | 諏訪市中洲171番地2 | 0266-52-7080 | 0266-52-6990 |
| 16 | 東御市教育委員会 | 389-0592 | 長野県東御市県281-2 | 0268-75-2717 | 0268-64-5878 |
| 17 | 辰野町教育委員会 | 399-0493 | 上伊那郡辰野町中央1番地 | 0266-41-1681 | 0266-41-3976 |
| 18 | 公益財団法人 田中本家博物館 | 380-0085 | 須坂市藪町476 | 026-248-8008 | 026-245-4780 |
| 19 | 千曲市教育委員会 歴史文化財センター | 387-0012 | 千曲市桜堂268番地1 | 026-261-3210 | 026-261-3211 |
| 20 | 茅野市八ヶ岳総合博物館 | 391-0213 | 茅野市豊平6983 | 0266-73-0300 | 0266-72-6119 |
| 21 | 中川村教育委員会 | 399-3802 | 上伊那郡中川村片桐4757 | 0265-88-1005 | 0265-88-4005 |
| 22 | 長野郷土史研究会 | 380-0905 | 長野市七瀬南部14-7 | 026-224-2629 | 026-224-2673 |
| 23 | 中野市教育委員会事務局生涯学習課 | 383-0025 | 中野市三好町1-3-19 | 0269-22-2111 | 0269-38-3117 |
| 24 | 長野市公文書館 (城山分室) | 380-0801 | 長野市箱清水1-3-8 | 026-232-8050 | 026-232-8051 |
| 25 | 長和町教育委員会 | 386-0603 | 長和町古町4247-1 | 0268-68-2127 | 0268-68-3114 |
| 26 | 南木曾町博物館 | 399-5302 | 木曾郡南木曾町吾妻2190 | 0264-57-3322 | 0264-57-4114 |
| 27 | 公益財団法人 八十二文化財団 | 380-0936 | 長野市岡田178-13 | 026-224-0511 | 026-224-6452 |
| 28 | 松代文化施設等管理事務所 | 381-1231 | 長野市松代町松代4-1真田宝物館 | 026-278-2801 | 026-278-2884 |
| 29 | 松本市文書館 | 390-0837 | 長野県松本市鎌田2-8-25 | 0263-28-5570 | 0263-24-2110 |
| 30 | 南箕輪村教育委員会 | 399-4592 | 上伊那郡南箕輪村4840-1 | 0265-76-7007 | 0265-76-5568 |
| 31 | 箕輪町郷土博物館 | 399-4601 | 上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3 | 0265-79-4860 | 0265-79-4860 |
| 32 | 宮田村教育委員会 | 399-4301 | 上伊那郡宮田村7021 | 0265-85-2314 | 0265-85-5583 |
| 33 | (有)山本マイクロシステムセンター | 381-2221 | 長野市川中島町御厨1963-5 | 026-283-5353 | 026-283-5354 |
| 34 | 長野県立歴史館 | 387-0007 | 千曲市屋代清水260-6 | 026-274-2000 | 026-274-3996 |

事務局より

平成31年度の総会・講習会は6月20日(木)松本市文書館を会場に開催されます。また平澤館長の寄稿にもありますが、全史料協全国大会が11月14日(木)・15日(金)に安曇野市豊科公民館などを会場としておこなわれます。長野県は全国でも公文書館の設置(計画を含む)が進んでいる県のひとつとされています。全国から大勢の参加者があります。この機会に交流を深め、歴史的公文書や地域史料を保存し後世へ伝えていく動きを加速していければよいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。

事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 FAX 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp